

教科	地歴	科目	日本史A	1学年	2単位
使用教科書	現代の日本史A（山川出版）		使用教材	プロムナード日本史・江戸から東京へ	
授業担当者					

目標	<p>将来の国際人として、積極的に自国の文化や歴史を世界に発信できる基礎的な知識と教養を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自国の歴史や文化に関する関心を深め、大まかな流れをとらえて基礎的事項の定着を図る。 2. 近現代史の流れを理解し、歴史事象を考察しながら、将来に向けた問題解決能力を身につける。 3. センター試験等、標準レベルの入試問題で六割程度の得点力を培えるようにする。
----	---

学期	単元・指導内容（章・節・項）	予定時数	具体的な指導目標	評価の観点・方法
1 学期	<p>序章 日本の歩みを振り返ろう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原始 2. 古代 3. 中世 4. 近世 <p>第1章 開国と維新</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 明治維新の背景 2. 開国とその影響 3. 政治秩序の崩壊 4. 明治維新と連続的改革 5. 対外関係の変革と内乱終結 <p>第2章 近代国家の形成と発展</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 立憲政治をめざして 2. 憲法の制定と議会の開設 3. 東アジアの国際環境 	28	<p>中学校で学んだ通史を概観して歴史の流れを理解する。幕末の外交政策を整理し、和親条約締結後、幕藩体制が崩壊していく過程を理解する。新政府の諸改革と、士族・庶民の反応を理解する。西南戦争以降の自由民権運動とそれに対する政府の立憲政体樹立の過程を理解する。列強の東アジアへの進出を背景に、日本を取り巻く朝鮮半島や清の国際環境の変化を対比しながら整理する。</p>	<p>授業に対する積極性（学習意欲）を高く評価する。具体的には次の取り組みを通して総合的に評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中間試験・期末試験 2. 提出物（復習プリント） 3. 出席 4. 小テスト 5. ノート・授業時の発言 <p>特に提出物を期限を守って提出する事が大切である。</p>
2 学期	<ol style="list-style-type: none"> 4. 条約改正・清国との戦い 5. 藩閥・政党の対立と協力 6. ロシアとの戦い 7. 日露戦争後の国際関係 <p>第3章 産業化の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 産業革命の進展 2. 資本主義の確立とその特色 3. 社会問題の発生 4. 国民文化の形成 5. 国民生活の変化 <p>第4章 第一次世界大戦</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第一次世界大戦と日本外交 2. 大正デモクラシーの高まり 	28	<p>岩倉使節団以降、我が国の不平等条約改正の取り組みを、時系列を追って整理する。近代立憲国家が成立していく過程で、藩閥政府と政党の関係を国際情勢と対比しながら理解する。朝鮮半島をめぐる国際情勢を理解し、日清戦争に発展していった過程を整理する。日清戦争後の清をめぐる日露関係を理解し、日露戦争に発展していった過程を整理する。日清戦争以降、我が国が資本主義国家として発展していく過程を整理し、それに伴う社会問題発生の背景を理解する。</p>	<p>授業に対する積極性（学習意欲）を高く評価する。具体的には次の取り組みを通して総合的に評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中間試験・期末試験 2. 提出物（復習プリント） 3. 出席 4. 小テスト 5. ノート・授業時の発言 <p>特に提出物を期限を守って提出する事が大切である。</p>
3 学期	<ol style="list-style-type: none"> 3. 国際協調と軍縮の進展 4. 政党政治の時代 5. 戦後の経済と社会 6. 都市化と大衆文化 <p>第5章 第二次世界大戦と日本</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 昭和恐慌 2. 国際協調のゆきづまり 3. 満州事変から国際的孤立へ 4. 軍部の政治的台頭 5. 中国との戦い 6. 第二次世界大戦と世界新秩序 7. 太平洋戦争 8. 日本の敗北 	14	<p>第一次世界大戦以降の我が国の大陸政策を整理し、韓国併合の過程を理解する。大正から昭和初期にかけて、国民生活が近代化されていく過程を理解する。戦後恐慌・震災恐慌を通じて、日本経済の動揺と政府の政策を整理する。第一次世界大戦後の国際情勢を整理し、日本の外交政策を理解する。日本の中国進出の背景を整理し軍部の台頭から日中戦争、太平洋戦争に発展していく過程を整理する。日米対立の背景を理解し、太平洋戦争の経過を整理する。</p>	<p>授業に対する積極性（学習意欲）を高く評価する。具体的には次の取り組みを通して総合的に評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中間試験・期末試験 2. 提出物（復習プリント） 3. 出席 4. 小テスト 5. ノート・授業時の発言 <p>特に提出物を期限を守って提出する事が大切である。</p>